

# IT、電機、物流における欧州・アジアの 中継点エストニア

エンタープライズ・エストニア／外国投資・貿易促進局長

クリステル・カルダ

Mr. Krister Kalda



エストニアは、地理的にも文化的にも、独特な位置にある国です。周辺に9000万人の市場をもち、交易の中継点であるといえます。西側諸国企業にとってのロシアおよび東欧市場参入の、ロシア企業および東欧企業にとってのEU市場参入の際のゲートウェイとなり、ほとんどのエストニア人は母国語のほかに英語、ロシア語、フィンランド語、スウェーデン語、ドイツ語、フランス語といった、ヨーロッパで話されているいずれか、または複数の言語を流暢に使い、これらの国々における商習慣にも精通しています。

国土の約50%が森林に覆われていることから、林業および家具製造業は、エストニアでも国際競争力が高い部門のひとつです。また、金属および機械製造業も、長い歴史をもつ産業です。モバイルおよびその他の情報通信技術部門は、エストニアという国が近年最も存在感を示している部門ではないでしょうか。スカイプ社の製品はエストニアで開発され、NATOはサイバー防衛センターを設置するなど、電子国家としての知名度が高まっていることも一因です。エリクソン社が、第4世代携帯電話の製造に向けた投資をタリンで実施するなど、電子機器の製造でも、エストニアは強さを誇っています。

物流部門においては、その立地が優位性を発

揮しています。道路は北欧諸国の基準が採用され、鉄道はロシア鉄道に接続しています。エストニアには31の港があり、5つの大型貨物港が国際海上貨物の取引を行っています。タリン空港は欧州内主要空港と航路を結んでおり、欧州域内ではアジアから最短の航空貨物仕分け地点であるため、輸送費を大きく削減することが可能です。

2011年からのエストニアには大きな変化があります。ユーロ圏への正式加盟による為替リスクの低減が、投資や貿易を加速させることでしょう。また、両替利便性の向上は、より多くの観光客の皆さまをエストニアへと導いてくれることでしょう。2011年欧州文化首都に指定されているタリンでは、さまざまな文化イベントが開催されます。また、両国間の文化交流で見逃せないのが、大相撲の把瑠都関バルトです。国民が誇りに思うのは、異文化の地でエストニア人の勤勉さを体現している彼の姿です。

エストニアでは、再投資された利益に対して所得税が0%と規定されているなど、投資家の皆さまにとって好環境が整備されています。詳細は弊局の東京事務所にお問い合わせください。皆さまのお問い合わせが、両国の経済関係の発展へとつながるものと信じて疑いません。